



YOU来た通信

9・10月



編集：発行 土佐清水市企画財政課地域づくり支援係
移住促進担当

土佐清水市天神町 11 番 2 号
TEL：0880-82-1181
FAX：0880-82-2882

暦の上では秋ですが、まだまだ暑い日が続きます。

みなさんどうお過ごしですか？

みなさん、こまめな水分・塩分の補給をして体調管理はしっかりしてください。



イベント情報



◆豪華客船ぱしふいっくびいなす寄港

日時：9月27日(木) 8:00~17:00(予定)

場所：あしずり港岸壁

内容：あしずり踊り演舞、あしずり太鼓演舞、物産展等(予定)

※入港・出港時に行われます。

◆足摺きらり

日時：10月6日(土)~7日(日) 16:00~

※雨天の場合、10月8日(月)も実施

場所：足摺岬園地・金剛福寺

内容：太鼓演奏、グラスキャンドル、
フォトコンテストなど



移住体験ツアー

「高知家の夏休み in 幡多」



平成30年7月27日(金)～29日(日)にかけて、高知県主催の移住体験ツアー「幡多の夏休み」が開催され、土佐清水市からは27日(金)と28日(土)に参加者のみなさんをおもてなしさせていただきました(*^o^*)

【1日目】

大阪からバスで幡多地区をめぐりながら土佐清水市に到着されたのはスケジュール通りの夕方ごろ。そこから地元の居酒屋へ♪
みんなでおいしい食事をしました！土佐清水に来られた際は、こんなところで海の幸をいただけますよ(^o^)



【2日目】

土佐清水市の美しい自然を体感していただくとうと、大岐の浜にレクリエーションに行きました♪その後、ジョン万資料館へ移動して移住に関する概要説明&郷土料理体験！

土佐清水の食にふれながらこちらでの生活をどのようにしていくか、移住希望者の皆さん同士でも話されていました(^o^)

みんなで楽しく土佐清水を体感していただきました♪まだまだ魅力いっぱいこのまちに、また遊びに来ていただきたいです(^o^)



地域おこし協力隊 移住促進担当
清水 博子





市民祭あしずりまつり (納涼花火大会)

8月4日(土)に第57回市民祭あしずりまつりが開催されました!

土佐清水の夏の一大イベントである、あしずりまつりには毎年、県内外から多くの方々がいらっしゃいます。

今年も清水高校生の書道パフォーマンス、あしずり太鼓、あしずり踊りの演舞、屋台村と物産展が多数出店され大賑わいとなりました。

夜には約1万発を超える花火が打ち上げられ、花火に負けないくらいの大歓声が夜空に響きました!(^^)!

移住されてから初めての花火大会をご覧になった方からは「花火がとても近くて迫りに驚きました!とても興奮しました!」と、お話を聞くことができました(^o^)

ぜひ来年も土佐清水で花火大会をご覧いただけたらと思います。



森林を守る担い手育成研修の参加者募集

少しでも林業に関心のある方や林業で収入を得てみたいと考えている方を対象に、チェーンソー取り扱い、伐採・造材・搬出・林内作業道開設の研修を開催します。

森林整備や林業に関心のある方はぜひご参加ください。なお、チェーンソー取り扱い研修については規定の教育を修了された方に修了証を交付いたします。

【参加費】無料

【対象者】幡多郡内在住の18歳以上の方(ただし、学生は不可)

【定員】各12名(先着順)

【申込期間】平成30年9月3日(月)から平成30年9月28日(金)

【申込方法】農林水産課林業係までお電話をいただくか、①住所②氏名③性別④生年月日⑤電話番号⑥参加したい研修を入力し、メールでお問い合わせください。

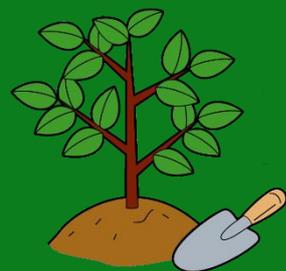
【研修内容及び日程】

●チェーンソー取り扱い研修 10月20日(土)~21日(日)

●伐採、造材、搬出研修 11月17日(土)~18日(日)

●林内作業道開設研修 12月15日(土)~16日(日)

※詳細につきましては、申込時(お電話・メール)にお伝えいたします。



【申込・お問い合わせ先】

農林水産課林業係 0880-82-1228

メール nousui@city.tosashimizu.lg.jp



移住相談員 ジュリーが行く！

みなさんこんにちは(*^^)v またまたジュリーが行くコーナーです。
今回は、8月21日(火)に宿毛市の「宿毛のまちえき 林邸」で開催されました2018年度の第1回高知県移住プロジェクトに参加してきましたので、その模様をレポートします!(^^)!
第1回目は、宿毛市の「はたモジャモジャ交流会」主催で、

「帰ってしまった移住者の話を聞いてみよう」をテーマとした講演です。

まずは、帰ってしまった移住者さん、雨宮夫妻のお話。
関東出身のお二人は共に農業関係の仕事につきたいと思っており、関東で農業をするよりやはり自然豊かな土地でと高知県にたどり着いたそうです。当時お二人は20代前半で身寄りもない土地での生活は本当に厳しく、古民家を借りて生活していたが修繕も多く苦勞するところも多かったとのこと。また、住宅改修の補助金制度を利用しようと思っ
て申請をするもうまくいかず、朝から晩まで働き詰めの毎日
で「移住してお金も貯まらないし、農業もできないのであれば移住する必要がない!」と思い、関東に戻り3年間サラリーマンをしましたが、現在は三重県に移住し、旦那様は地域おこし協力隊として地域活性化のため農業や農家民宿もしている
そうです。



続いて、帰ってしまった移住者さんではないのですが、三原村に移住されたご夫妻のお話を聞きました。

やはり苦勞されていることは雨宮夫妻と同じような内容が多く、我々が普段業務として行っている「移住相談」内容にも考えさせられることが多くありました。業務としてではなく「移住者1人1人の人生が詰まっている!」という思いを強化し取り組んでいけないといけないなあ実感しました。また、移住者さんに出来る限り地域の人柄や風習などをお伝えし、無理のない範囲で地域に溶け込んでいただけるような相談内容も必要など感じました。

今回は、本当に貴重なお話が沢山ありました。そして沢山勉強になりました!

